



職員の感染防止対策 レベルアップのための要点

2021年4月30日

千葉県立佐原病院

感染管理認定看護師 石渡 麻衣子

本日の内容

1. 感染防止対策の基本的考え方
2. 手指衛生の基本
3. 個人防護具の使用
4. 生活用品・環境の衛生管理

感染防止対策を行う目的



① 利用者を感染させない



② 自分が感染しない



③ 利用者間で感染がおきない

高齢者患者の特徴

理解力・免疫力・予備力（基礎体力）の低下

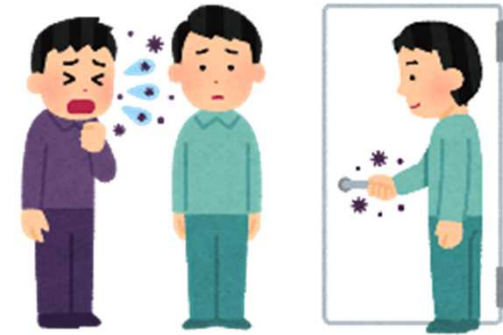


例えば

- 手洗いなどの習慣が身につきにくい
⇒正しい清潔行動をとることが難しい
- 行動を予測することが難しい
⇒微生物を周囲環境へ運んでしまうまたは、
周囲環境から獲得してしまう可能性がある
- 体調が悪くても訴えることができない
- 予想できない病態をたどることがある
⇒重症化しやすい

感染はどのようにおこるのか？

1. 咳やくしゃみのしぶきが皮膚につくか、環境表面に存在するウイルスが私たちの手に付着する。



2. ウイルスは手の上で数分間は生きている。

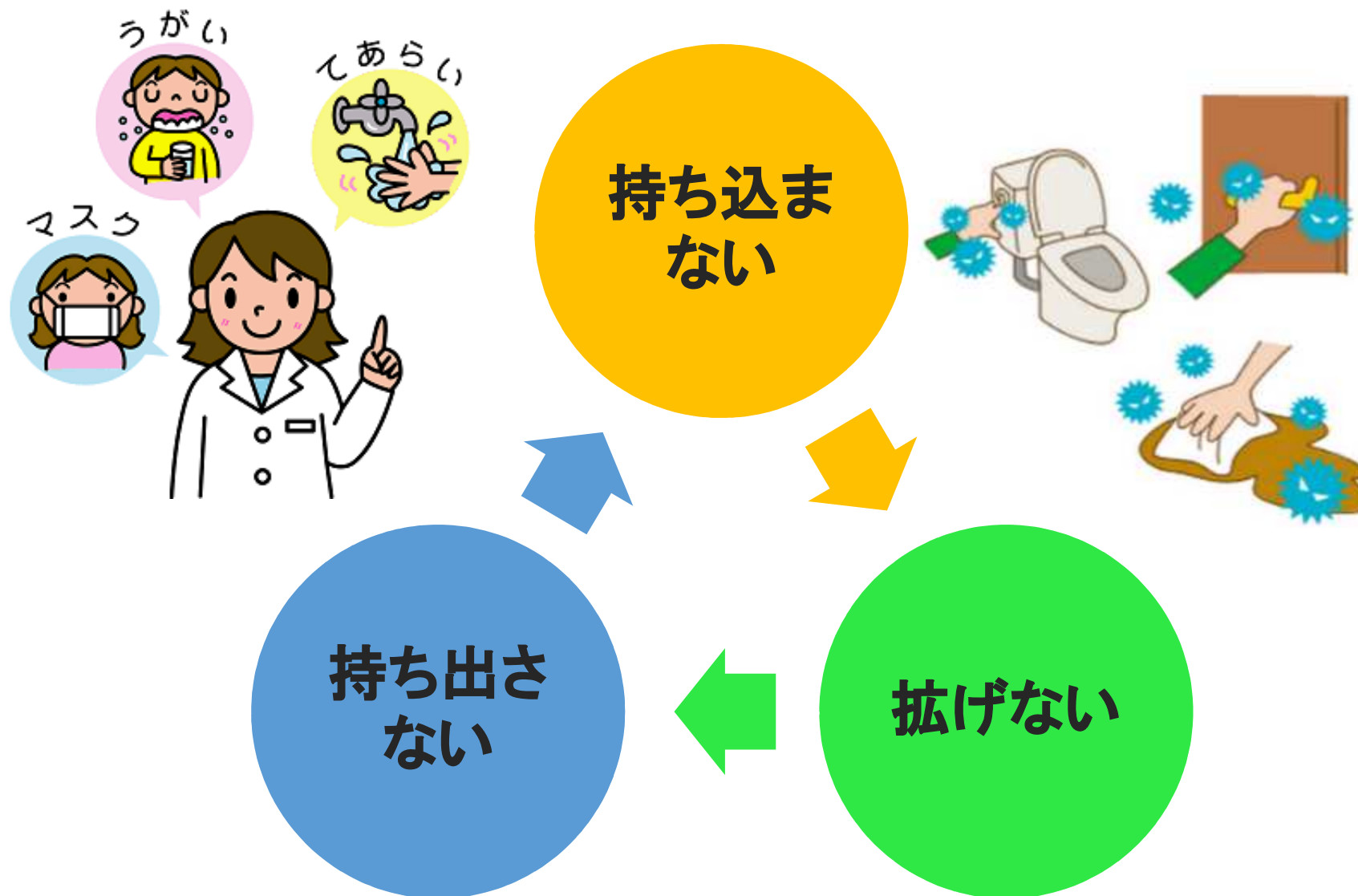


3. 粘膜のある「顔」、とくに「目・鼻・口」から入り込む。



4. 体内の粘膜(細胞)にウイルスが取り込まれ増殖する。

施設内で感染を拡げないための三原則



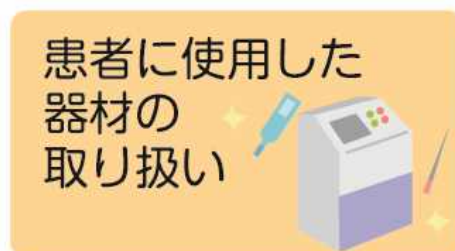
標準予防策

感染症の有無に関わらず、
全ての患者の血液、汗を除く体液、
分泌物、傷のある皮膚、排泄物は
感染の危険性があるものとして取り扱う

1996年 米国疾病対策センター

CDC(Centers for Disease Control and Prevention)から提唱された考え方

標準予防策の具体策



手指衛生とは

- 一番簡便にでき、かつ効果的な方法であり、感染予防の基本となる
- 正しい方法、適切なタイミングで実践することが重要である
- 利用者はもちろん、自分自身や家族を感染から守ることができる



手指衛生を実施するタイミング

1. 防護具をつける前
2. 手袋を交換する時(外したら)
3. 防護具を外した後
4. 飲食の前
5. トイレの後



手指衛生の方法

基本は
アルコール手指衛生

- 目に見える汚れがない時



擦式アルコール性
手指消毒剤

アルコールが使えない場合は、
非アルコール性手指衛生剤の使用か
流水と石けんの手洗いで代用します。

- 手に**汚れがついた時**と
排泄ケアの後、食事の前



石けんと流水
で**15秒**



心の中で
Happy birthday to
you~1回

擦式アルコール製剤の使用手順



①消毒薬をノズルを下までしっかり押し、手の平に取る



②両手の指先に消毒液を浸す



③手の平によく擦り込む



④手の甲に擦り込む（両手）



⑤指の間にも擦り込む



⑥親指にも擦り込む（両手）



⑦手首にも擦り込む（両手）



⑧乾燥するまでよく擦り込む

流水による手洗いの手順



①まず手指を流水で濡らす



②石けん液を適量取り出す



③手の平と手の平を擦り、よく泡立てる



④手の甲をもう片方の手の平で擦る（両手）



⑤指を組んで両手の指の間を擦る



⑥親指を片方の手で包み、擦る（両手）



⑦指先でもう片方の手の平を擦る（両手）



⑧両手首まで丁寧に擦る



⑨流水でよくすすぐ



⑩ペーパーで水分をしっかり拭き取る

個人防護具(PPE)使用の目的

PPE: Personal Protective Equipment

職員を

血液・体液曝露から守り

安全性を確保するためのもの

その場で着用、その場で外す
(患者毎に交換！)

個人防護具の種類と目的

手に触れる

- ・手袋

衣服に着く

- ・ビニールエプロン
- ・ガウン

口や鼻に入る

- ・マスク

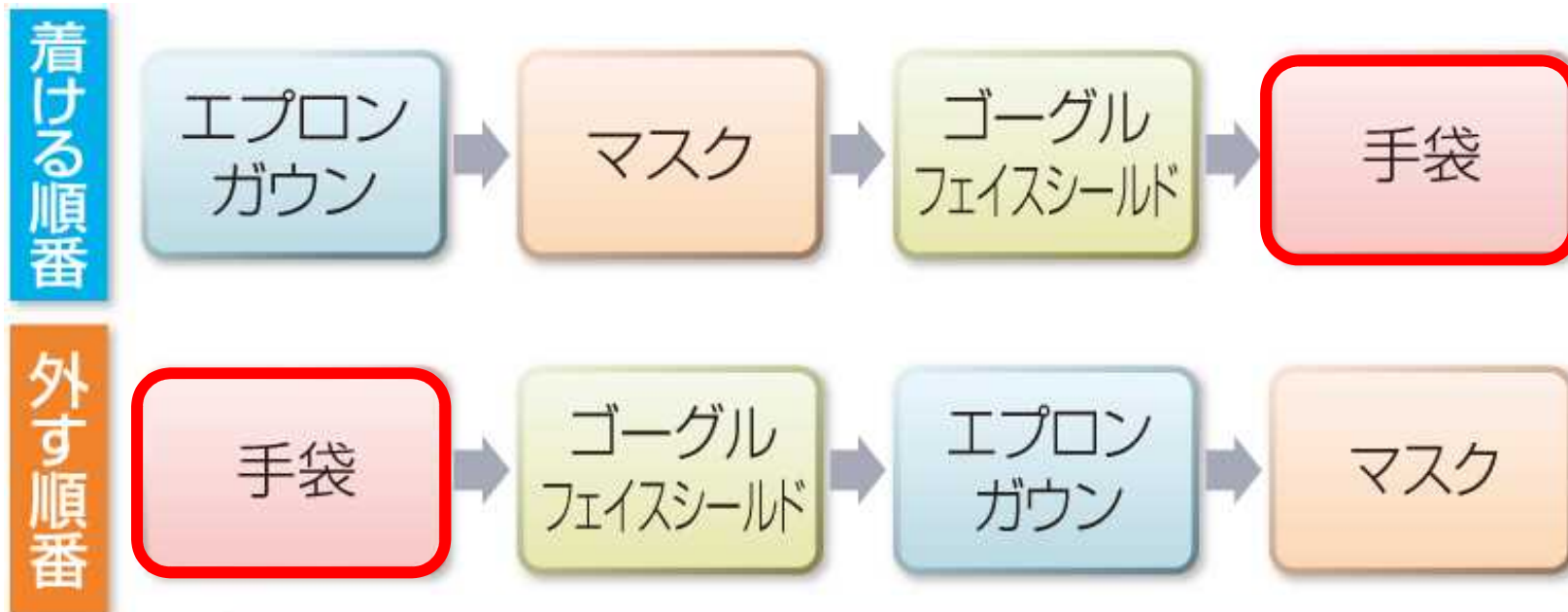
目に入る

- ・ゴーグル
- ・フェイスガード付きマスク

日常で個人防護具が必要な場面

◆ 食事介助		エプロン
◆ 口腔ケア	→	手袋
◆ 排泄ケア		アイシールド

個人防護具の着脱順序



個人防護具の装着前、外した後に手指衛生を実施する
(手指が汚染した場合は、いつでも必要に応じて手指衛生を実施する)

手袋の着脱方法

手袋の着け方

①手指衛生



②手袋の手首部分を持つ。

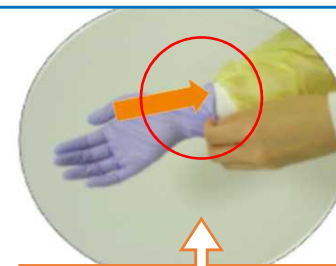


③手袋がどこにも触れないように装着する。



④同様に反対側の手に装着する。

ガウンとの組み合わせ

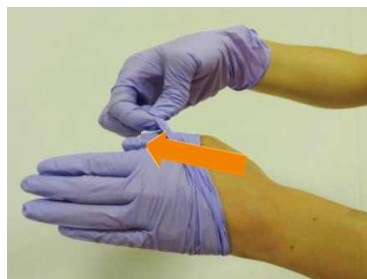


手袋でガウンの袖口をしっかりと覆う

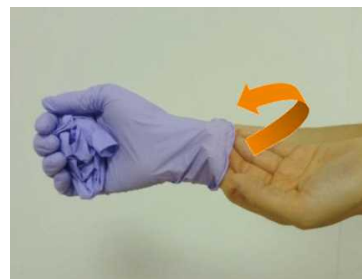
手袋の外し方



①手袋の手首部分の外側をつまみ、内側に触れないように手袋をめくる。



②汚染された外表面が内側になるように中表に外していく。



③外した手袋を丸めて握り、手袋を外した手先を手袋と手首の間に差し入れる。



④もう一方の手袋も中表になるようにめくりながら外し、廃棄する。

⑤手指衛生



エプロンの着脱方法

プラスチックエプロンの着け方



①エプロンの首の部分を持つ。



②エプロンを首にかける。



③腰ひもを結ぶ。



④裾を広げる。

プラスチックエプロンの外し方



①首の後ろにあるミシン目を引きちぎる。



②上半分を前面に垂らす。



③両裾の内側を持ち、下から上に折り込んでいく。



④腰の部分で腰ひもを一緒に持つ。



⑤前方に引っ張り、腰ひもをちぎる。



⑥小さく折りたたみ、廃棄する。

サージカルマスクの着脱方法

サージカルマスクの着け方



①ノーズピースが上側、マスクのプリーツが下向きになるように装着する。



②ノーズピースを押さえ、鼻の形に合わせる。



③顎まで覆うようにプリーツをのばす。

サージカルマスクの外し方



①マスク表面に接触しないように耳ゴムを持ち、顔から外す。



②マスクは丸めずにそのまま廃棄する。

NGマスク



鼻出しマスク



顎マスク



腕マスク

2021/1/19

ゴーグル、フェイスシールドの着脱方法

ゴーグルの着け方



両手でフレームを持って装着する。

ゴーグルの外し方



ゴーグルの表面に接触しないように、フレームを持って外す。

フェイスシールドの着け方



両手でフレームを持って装着する。

2021/1/19

フェイスシールドの外し方



シールドの表面に接触しないように、フレームを持って外す。

ガウンの着脱方法

ガウンの着け方



①ガウンの袖に片方ずつ手を通す。



②襟ひもを結ぶ。



③背中側を重ね合わせて腰ひもを結ぶ。

ガウンの外し方



①襟ひも、腰ひもをほどく。



②袖口の内側に手を入れて袖を引き抜き、反対の袖を外側から引き抜く。



③表面の汚染面が内側になるように脱ぐ。



④中表になるように折り込んでいく。



⑤ロール状に折りたたみ、廃棄する。

個人防護具使用上の注意点

- 利用者毎、ケアの直前に装着
- 一ケア、一手袋の原則を守る
おむつ交換とはみがきと内服介助の場合は、
新しい手袋を装着する。
- 手袋を外した後は、必ず手指消毒
職員が手指消毒剤を携帯するとよい。手袋をはめていても、
手の汚染は発生するので、手袋装着は、手洗いの代用にしない

手の汚染は発生するとは？



石けん手洗い後に、
手袋をつけました。
その後は
忙しかったので、
手袋だけ交換していた。

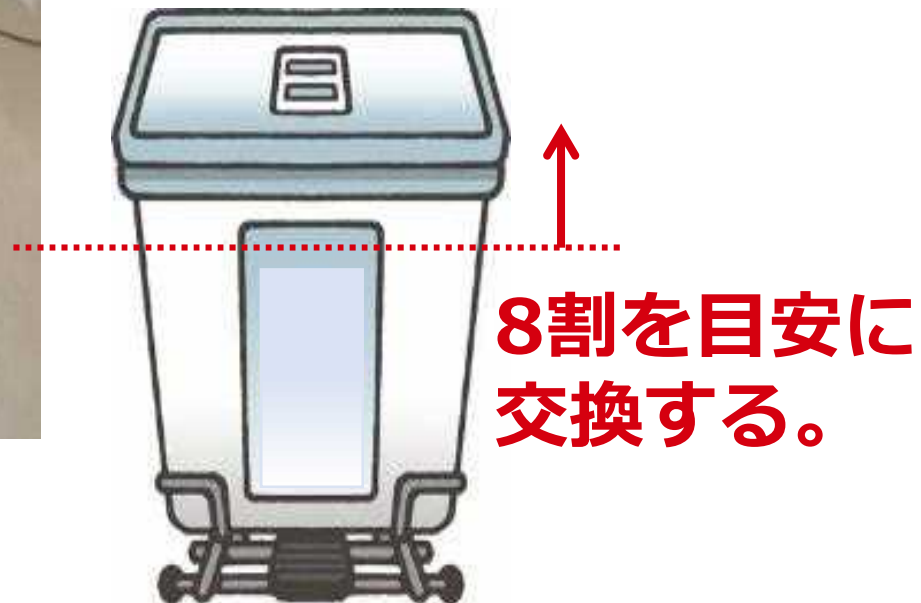
時間がたてば微生物は増える！

ごみ箱の管理

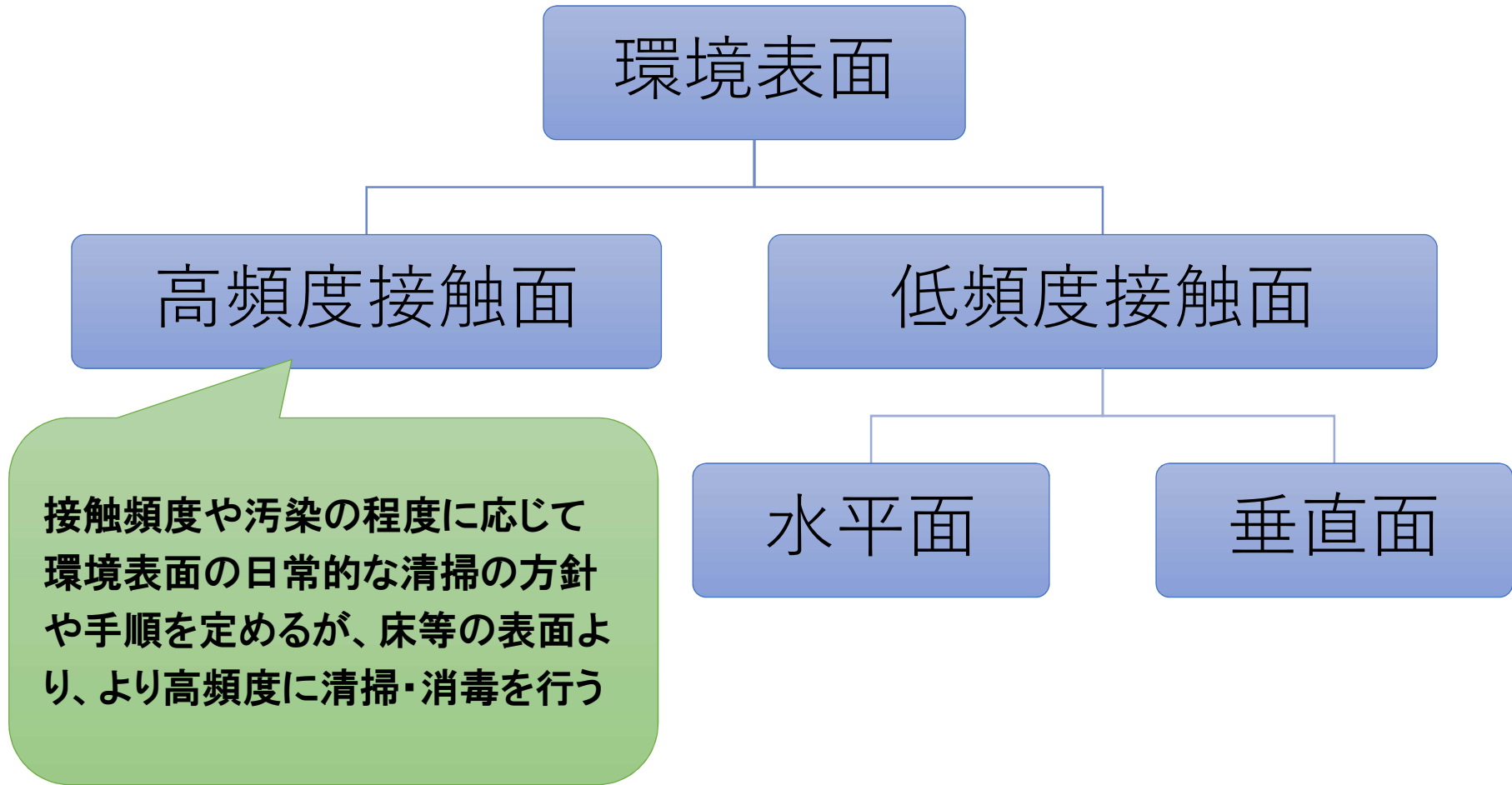
× はみだしたごみは感染性物質
にふれる危険がある！



手や足で押し込まない



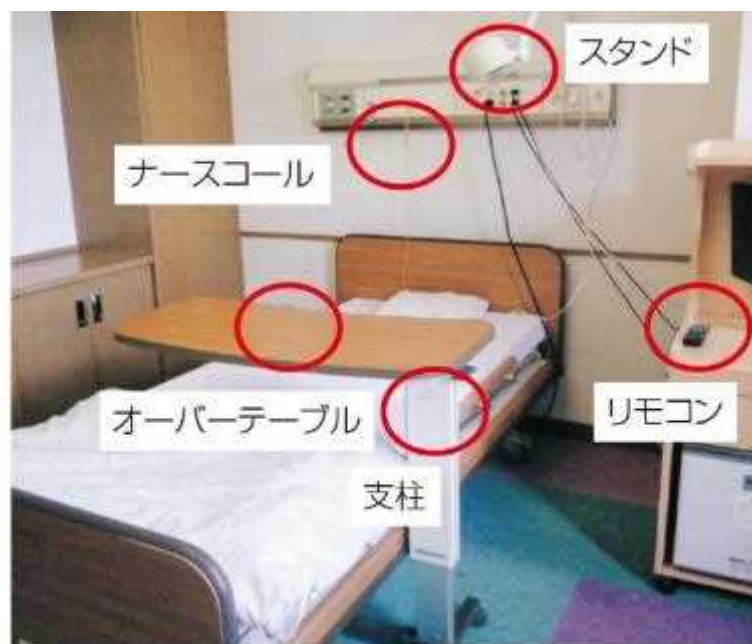
環境清掃のためのポイント



環境清掃時の留意点

最低限1回/日はベッド周囲の環境清掃を実施する

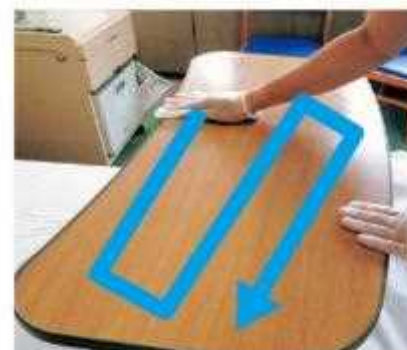
- ・手指がよく触れる場所
- ・汚染しにくいところから清掃を行うことが重要となる。



①〈病室〉

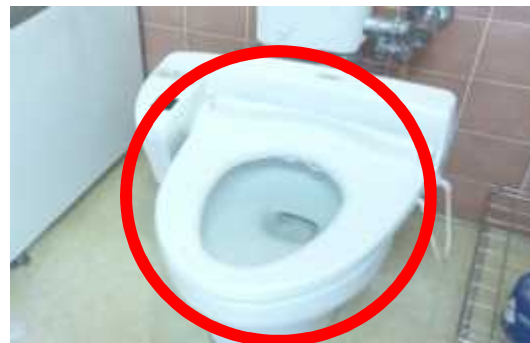


②〈ベッド柵〉



③〈オーバーテーブル〉

トイレ清掃の留意点



手すり・スイッチ・鍵・フラッシュバルブ等
日常清掃のポイントに入れておく

こんな場所も注意！

テーブルの縁や裏側



食べこぼしをそのままにせず、
その都度清掃を行う



歯ブラシの保管は個別に行う

共有物品や環境の管理方法

①共有物品は、こまめに洗淨・消毒を行う。

②「いきなり消毒」はNG。

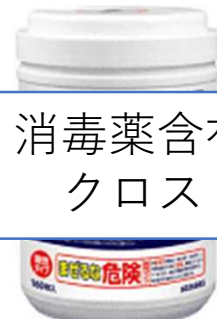
消毒前には、必ず有機物を取り除き、洗淨する。

③環境はヒトの手がよく触れる場所を中心に、汚れを物理的に取り除く。

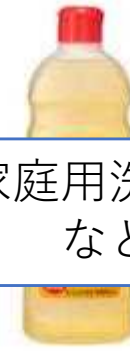
④洗淨・消毒などの作業後は手を洗い、手の衛生を保つ。



環境清掃用
クロス

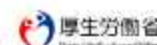


消毒薬含有
クロス



家庭用洗淨剤
など

新型コロナウイルス感染症対策



消毒や除菌効果をうたう商品は、目的に合ったものを、正しく選びましょう。

➤ チェックポイント

使用方法 有効成分 濃度 使用期限

※ 商品の購入の際には、必ずこの4点をチェックするようにしましょう。

① 手指のウイルス対策

こまめな手洗いを心がけましょう。

石けんやハンドソープを使った丁寧な手洗いを行うことで、十分にウイルスを除去できます。さらに消毒剤等を使用する必要はありません。



② 物品のウイルス対策

テーブル、ドアノブなどの身近な物の消毒には、塩素系漂白剤や、一部の家庭用洗剤等が有効です。

塩素系漂白剤等の詳しい情報は
こちらから！

https://www.met.go.jp/covid-19/pdf/0327_poster.pdf



家庭用洗剤等の詳しい情報は
こちらから！

<https://www.met.go.jp/press/2020/05/20200522009/20200525020-1.pdf>



③ 空間のウイルス対策

定期的に換気してください。



注) まわりに人がいる中で、消毒や除菌効果をうたう商品を空間噴霧することは、おすすめしていません。



次亜塩素酸ナトリウム溶液の作り方

	原液濃度	希釈	方法	使用する場所
0.1% (濃い)	1% (ミルトンなど)	10倍	原液10ml + 水100ml	便や吐物が直接 ついた場所・衣類
	5% (ハイター・ブリーチ など)	50倍	原液10ml + 水500ml	
0.02% (薄い)	1% (ミルトンなど)	50倍	原液10ml + 水500ml	調理器具、床、便座、 ドアノブ、蛇口など の環境
	5% (ハイター・ブリーチ など)	250倍	原液10ml + 水2.5 ℓ	

ペットボトルを利用すると簡単です
キャップ1杯が5mlに相当します

※ハイター®のキャップ1杯は約25ml

職員健康管理上の留意点

1. 発熱だけではなく、咳やくしゃみ+倦怠感等の症状がある場合も休養を検討する。
2. 職員はマスクを装着する。
3. 日頃から体温測定などを行うことで、自分の平均値を把握する。
4. 休んだあとの、出勤再開の基準を明確にしておく。

職員の健康観察の項目

- 発熱（必須：平熱の把握）
- 咳
- 倦怠感
- 味覚/臭覚の異常
- 下痢
- 解熱鎮痛剤の内服

出勤時にチェックし、
勤務者の異常がないことを確認・記録
を保管しておく

具体的な感染予防策(例)

□持ち込まないために

- ・出勤時の手指衛生の実施(建物入り口で、かつ業務開始時に実施)

- ・**職員(訪問者)の健康管理**

出勤時の健康管理チェックは確実に行うこと

⇒所属長または代行者は必ず確認する。

特に、休日明けの出勤は注意が必要となる。

- ・面会を制限する



□拡げないために

- ・処置ごと・患者ごとに正しい方法での**手指衛生**

- ・**個人防護具の適切な使用と正しい方法での着脱**

- ・定期的な**環境清掃**

手すり、パソコン、スイッチ、ドアノブなどの共有する場所

- ・食堂・休憩室の3密対策

□持ち出さないために

- ・業務終了時の手指衛生

- ・ユニフォームを着替えてから帰宅することも効果的

感染防止対策のまとめ

1. 手指衛生を手順通り・適切なタイミングで、確実に実施する
2. 個人防護具着用ルールを理解し、ルールを守る。
3. 利用者・スタッフの手が良く触れる場所を定期的に清掃し、環境を衛生的に管理する。
4. 自分自身の健康管理を忘れずにする。



ご清聴ありがとうございました
+